目　　次

はしがき

FIRST STAGE　人権とは何か

第1講　人権を護る砦――憲法 ―― 2

1　私たちは憲法に違反しない?!　3
2　人類の宿題　4
3　国家権力コントロールの論理――近代立憲主義　6
4　人権思想の展開　11
5　憲法は統治者に宛てられたメッセージ　12

第2講　「臣民の権利」と「基本的人権」
――明治憲法から日本国憲法へ ―― 16

1　明治憲法の「臣民の権利」　16
2　明治憲法から日本国憲法へ　22
3　日本国憲法の「基本的人権」　23

第3講　人権は無制限？――人権制約の原理 ―― 27

1　人権保障の不可侵性とその限界　27
2　公共の福祉　29
3　人権の私人間適用　32

第4講　国家対個人の問題に国際社会は関係ない？
——国際人権保障 —— 35

1　概　説　36
2　条約システムによる人権保障　39
3　国連システムの中の人権保障　41
4　地域的な人権保障体制　43
5　日本と国際人権　46

SECOND STAGE　日本国憲法の人権

第5講　近代人権思想の根本原理
——個人の尊厳と平等 —— 50

1　人間の尊厳　50
2　個人の尊厳　52
3　平等の概念　54
4　14条における差別　56

第6講　ドラえもんのポケット？——幸福追求権 —— 63

1　「新しい人権」——背景と法的根拠　63
2　幸福追求権の内容　65
3　プライバシーの権利　67
4　自己決定権　71

第7講　心の自由は渡さない!!!——精神的自由権 —— 76

1　心の自由がなかったとき　77
2　思想・良心の自由　78
3　信教の自由　79
4　表現の自由　83

第8講　人間らしく生きたい——生存権 —— 93
1　社会保障のいま　94
2　生存権思想と国家の役割　98
3　生存権は「権利」？　100
4　高齢社会の生存権　103

第9講　知らないでいると損をする！
——労働者の権利 —— 106
1　労働法の意義と歴史　106
2　労働者の権利　108
3　職場における人権保障　112

第10講　誤って逮捕されて有罪になったらたまらない
——刑事手続における人権 —— 117
1　刑法は何のためにあるのか　117
2　逮捕と被疑者・被告人の権利　119
3　受刑者の人権　125

THIRD STAGE　マイノリティの人権

第11講　これって性差別ではないの？
——セックスとジェンダーをめぐる人権 —— 130
1　両性の平等　130
2　女性の人権　135
3　性自認と性的指向　137

第12講　子どもは人権の主体？　保護の対象？
——子どもの人権 143

1　子どもは人権の主体？　144
2　児童の権利条約　147
3　家庭の中の子どもの権利　149
4　学校における子どもの権利　151
5　社会の中の子どもの権利　152

第13講　障害があっても自分らしく生きたい
——障害者の人権 156

1　障害者って誰？　157
2　障害者の人権のいま　158
3　障害者の自立・自己決定権　160
4　平等と「合理的配慮」　161
5　障害者をめぐる人権問題　164

第14講　路上に生きる——ホームレスの人権 169

1　ホームレスの実態　170
2　ホームレスにも人権はあるの？　171
3　ホームレスの公園からの強制立ち退き　173
4　ホームレスと生活保護受給権　178

第15講　人権を保障されるのは日本人だけ？
——外国人の人権 182

1　国　籍　182
2　入国・在留・再入国の権利　184
3　滞在／居住している外国人の人権　185
4　日本の外国人受入れ　190
5　難　民　192
6　共生社会のために　195

第16講　戦争で被った犠牲はどうなるの？
——戦後補償と人権 ——— 199
1　自国民への戦争被害の補償　200
2　他国民の被害　204
3　原爆被害　210

第17講　グローバリゼーションの時代
——ビジネスと人権・少数民族等の権利 ——— 213
1　グローバリゼーションと人権・労働基準　213
2　少数民族等の権利　217

おわりに——巻末メッセージ——
判例索引
事項索引

【資料】日本国憲法